資料８

図書館ワークショップ　実施報告

１　概要

日　時：令和８年 10 月 24 日（土曜）午後２時～４時
場　所：小金井市立図書館本館 地階集会室
参加者：４人
テーマ：「魅力的で小金井らしい図書館とは」

２　主な意見（要約）

①今の図書館で「いいな」と思うところ

・電子書籍の導入やホームページの改善により読みたい時にすぐ本が読めたり、開館時間が長く所蔵本のリクエスト受け取りも早かったりと、日々の利便性が高まっている。
・新刊や調べ物に役立つ多様な本が無料で借りられるという基本価値が守られているだけでなく、心に響く推薦書の選出や工夫を凝らしたテーマ展示など、本との豊かな出会いが提供されている。
・読書会や深いテーマを扱う対話の場、関連団体との連携企画、乳幼児向けのブックスタートといったイベントが充実しており、各種チラシも増え、地域の情報拠点としても機能している。
・建物は古くても清潔に保たれ、スタッフの的確な対応やほどよく放っておいてもらえる居心地の良さがあるほか、小上がりのある児童コーナーなど子どもが過ごしやすい空間づくりも工夫されている。

など

②こんな図書館だったら「もっと行きたくなる」

・駅前やショッピングセンターへの設置、夜間も利用できる受取ロッカーの配置など、生活動線の中で便利に本を受け取れる仕組みづくりや、複数館を集約・複合化してサービスを充実させるといった、より身近で利便性の高い施設づくりが求められている。
・保育園への出張読み聞かせや学校での図書館利用授業といったアウトリーチ活動のほか、中高生向けの社会問題ワークショップや探求学習の支援、子ども向け小上がりの拡充など、次世代の学びやリテラシー育成の場としての役割が期待されている。
・市職員の業務支援や起業支援といった特色ある情報拠点として機能しつつ、AI 時代に対応する対面レファレンスコーナーの設置、スタッフの専門性向上、プライバシー保護など、質の高い「調べる」支援の充実が重視されている。
・カフェの併設や地域施設との連携をはじめ、温かみや人とのつながりを感じられる空間づくりに加え、現代的なテーマの連続講座、屋外での読書体験（なぞときや歩き読書など）、やさしいリライト本の提供といった、多様な価値観に触れられる魅力的な企画が提案されている。

など

③10 年後、どんな図書館になってもらいたいか

・青少年を育む図書館
・“学び、つながり”を届ける図書館